

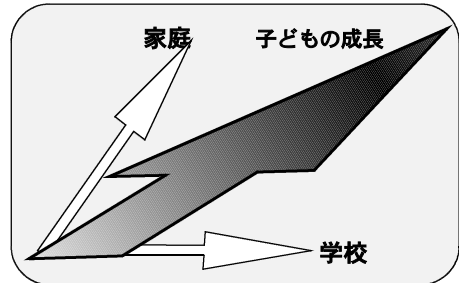


名和小だより

学校教育目標 よく考え工夫する子 思いやりのある子 がんばりのきく子
(未来のための三つの心 **自立心** **向上心** **思いやりの心**)

二者面談 お世話になりました

二者面談では、お子さんの様子や保護者の方の心配なこと、担任としての考えなど様々な情報交換ができました。担任も子ども達の新たな面を知ることができましたので、これからの指導に役立てていきます。子どもの成長には学校と家庭とが同じ方向を向いて支援していくことがより大きな成長に繋がります。これからも何かあれば遠慮なく学校に連絡を頂き、一緒に考え、子どもにとってより良い方向に進んでいきたいと思っております。



スポーツテスト 始まる

全学年でスポーツテストの計測が始まっています。実施する種目は、50m 走、20m シャトルラン、ソフトボール投げ、立ち幅跳び、上体起こし、長座体前屈、握力、反復横跳び、以上の8種目になります。子ども達は昨年度の記録より少しでも伸ばそうと真剣に取り組んでいます。人との比較では無く自分自身がどれだけ伸びたか、その結果を振り返って、これからどうするかまで考えられると素晴らしいです。子どもが運動を好きになり、健康な体をつくる一番の方法は、元気よく外で遊ぶことです。



やさしく面倒見る6年生

1年生はスポーツテストが初めてです。やり方も分からないので6年生がついて、丁寧に教えてあげます。言葉だけで分かってももらえないと、体を使って動きをしめしたり、上手にやるポイントを教えてあげたりとそれぞれ1年生の様子を見ながら考えて動いていました。相手のことを考えて取り組める6年生は立派です。



図書室へ行こう 図書委員会

図書委員会が多くのの人に本を読んでもらうために『おまけ券をもらおう』と題して、クイズを作ったり、おすすめの本を紹介したりしています。クイズも本の中からの出題であり、本を読むきっかけを上手に作っ



ています。学校でも朝の時間に読書の時間を作り、本に親

しめるようにしています。読書は、映像のように受け身とはならず、自分から主体的関わり、考えたり想像したりできます。新しい知識を得たり、自分の考えを深めたり、登場人物の気持ちを想像したりするなど心の成長に欠かせないものです。



名和小の伝統 囲碁教室

今年度の囲碁クラブが開始されました。希望者を募ったところ1年から6年の34名が希望をしました。毎週月曜日



の年間25回。伊勢崎佐波囲碁会の方にお世話になりながら各自の目標に向けてこれから1年間頑張ります。初めて囲碁をやる人も半数近くいます。初めてやる人も経験者も続けることで自分のプラスになることが必ずあります。



熱中症に注意！！

コロナも心配ですが、それ以上に熱中症は直接命にも関わってきます。学校では、息苦しかったり、暑かったりしたときは、マスクを外すように指導しています。マスクをしていることで、口腔内に適度な湿気があるためのどの渴きを感じにくくなっています。そのため、熱中症になるリスクが高まります。学校生活の中で息苦しいときはマスクを外す、周囲に人がいないときは外す等、自分の体調や周囲の状況を見て、考えて行動を取ること。体を動かしているときは20、30分に一度は水分補給をすること。この様なことを学校でも指導をしていきますが、ご家庭でも話をしたり、実践をさせてください。



- ・喉が渴いたと思ったら既に脱水症状です。
- ・暑い日は、休み時間毎に水分を補給する。(運動する前の水分補給)
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」で健康を維持する。
- ・睡眠不足、下痢、肥満傾向、朝食抜きなど注意が必要です。
- ・通気性のよい服装にする。